

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ブイ・テクノロジー

コード番号 7717 URL <http://www.vtec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 重人

問合せ先責任者 (役職名) 企画部IRグループ長

(氏名) 河原 拓

TEL 045-338-1980

四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,505	46.1	75	—	80	—	36	—
25年3月期第1四半期	1,030	△78.2	△324	—	△332	—	△277	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 86百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △346百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	788.12	—
25年3月期第1四半期	△5,922.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	14,326	7,813	53.2	162,979.00
25年3月期	13,567	7,791	56.0	162,378.52

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,626百万円 25年3月期 7,598百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,250.00	—	1,250.00	2,500.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	1,250.00	—	1,250.00	2,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	211.3	400	—	350	—	200	—	4,274.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	47,540 株	25年3月期	47,540 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	748 株	25年3月期	748 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	46,792 株	25年3月期1Q	46,792 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6
4. 補足情報 .....	7
(1) 従業員数の状況 .....	7
(2) 生産、受注及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く欧州経済の停滞や中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響を受けたものの、各種政策への期待感から円安・株高基調が続き、景況感には改善の動きが見られました。

当社グループの関連するフラットパネルディスプレイ（FPD）市場では、これまで延伸されていた主力のテレビ向け大型液晶パネル並びにスマートフォン及びタブレット端末向けの中小型液晶パネルについて、主に中国において新設ライン用設備投資に向けた動きが見られたほか、有機ELの新たな設備投資計画の動きも見られました。

このような環境の中、当社グループは、検査関連装置については主に中国及び韓国向け案件での商談成約に向けた活動を、露光装置及び有機EL用装置については国内外のパネルメーカーへ拡販活動を行ってまいりました。

受注金額は、主に韓国及び中国向けの検査関連装置、中国向けの露光装置並びに関連消耗部品及びメンテナンス等の受注により、23億5千6百万円（前年同期は2億9千2百万円）となりました。なお、受注残高は73億4百万円（前年同期は19億9千7百万円）となりました。

この結果、売上高は15億5百万円（前年同期売上高10億3千万円）、営業利益は7千5百万円（前年同期営業損失3億2千4百万円）、経常利益は8千万円（前年同期経常損失3億3千2百万円）、四半期純利益は3千6百万円（前年同期四半期純損失2億7千7百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億5千8百万円増加し、143億2千6百万円となりました。主な要因は、「仕掛品」が9億9千2百万円、「受取手形及び売掛金」が5億1千2百万円増加したこと及び「現金及び預金」が10億1千6百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億3千6百万円増加し、65億1千2百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」が9億3千5百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2千2百万円増加し、78億1千3百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の動向を勘案した結果、現時点においては平成25年5月10日発表の「平成25年3月期 決算短信」に記載の業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,790	4,773
受取手形及び売掛金	4,088	4,600
商品及び製品	46	45
仕掛品	1,203	2,195
原材料及び貯蔵品	408	389
その他	545	919
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	12,062	12,905
固定資産		
有形固定資産	859	851
無形固定資産	57	48
投資その他の資産		
関係会社株式	21	17
その他	566	503
投資その他の資産合計	588	520
固定資産合計	1,504	1,420
資産合計	13,567	14,326
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,673	2,608
短期借入金	1,150	850
1年内返済予定の長期借入金	701	827
未払法人税等	19	34
製品保証引当金	118	114
引当金	70	58
その他	333	508
流動負債合計	4,066	5,002
固定負債		
長期借入金	1,642	1,439
引当金	66	70
固定負債合計	1,708	1,509
負債合計	5,775	6,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,408	2,408
資本剰余金	2,064	2,064
利益剰余金	3,219	3,198
自己株式	△125	△125
株主資本合計	7,567	7,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△2
繰延ヘッジ損益	10	28
為替換算調整勘定	22	53
その他の包括利益累計額合計	30	80
新株予約権	193	187
純資産合計	7,791	7,813
負債純資産合計	13,567	14,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,030	1,505
売上原価	887	909
売上総利益	142	595
販売費及び一般管理費	467	519
営業利益又は営業損失(△)	△324	75
営業外収益		
受取利息	2	10
為替差益	—	6
その他	3	2
営業外収益合計	6	19
営業外費用		
支払利息	6	8
持分法による投資損失	—	4
その他	7	2
営業外費用合計	13	15
経常利益又は経常損失(△)	△332	80
特別利益		
新株予約権戻入益	0	8
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産除却損	0	1
割増退職金	111	—
特別損失合計	111	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△443	86
法人税、住民税及び事業税	1	24
法人税等調整額	△167	25
法人税等合計	△165	49
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△277	36
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△277	36

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△277	36
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
繰延ヘッジ損益	—	18
為替換算調整勘定	△67	31
その他の包括利益合計	△69	49
四半期包括利益	△346	86
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△346	86
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年7月1日開催の臨時取締役会において、下記のとおり、オムロンレーザーフロント株式会社(以下「O L F T社」)の「F P D・半導体業界向けリペア装置事業」を譲り受けることについて決議を行い、同日付でO L F T社と事業譲渡契約書を締結いたしました。

①事業譲受けの理由

O L F T社は、日本で初めて固体レーザーを事業化した企業であります。「F P D・半導体業界向けリペア装置事業」では、局所レーザーC V D技術(※)を中心に、F P D分野及び半導体分野において微細な欠陥を修正する装置、サービス・サポートを広く提供してきました。

当社は、F P D分野において生産に貢献するイノベティブな装置を広く提供しております。事業譲受けによって既存事業との相乗効果により顧客へ提供する価値を増加できると判断し、今回の締結に至りました。

(※) C V D (=Chemical Vapor Deposition : 化学気相成長)とは、T F T (薄膜トランジスタ)等の製造工程で基板上にシリコン等の薄膜を形成する工業的手法

②事業譲受けの内容

F P D向けリペア装置及びF P D/半導体用マスクリペア装置の設計、製造、修理、サポート等の全業務

③譲受け価額、譲受け資産及び負債並びに決済方法

今後両社協議の上で決定いたします。

④事業譲受け期日

平成25年10月1日に事業譲受けを完了する予定です。

⑤相手先の概要(平成25年3月31日現在)

名称	: オムロンレーザーフロント株式会社
所在地	: 神奈川県相模原市中央区下九沢1120
代表者	: 代表取締役社長 小林 光生
事業内容	: レーザー加工装置の開発・製造・販売・保守サービス
資本金	: 1,508百万円
設立	: 平成16年1月
大株主	: オムロン株式会社
相手先との関係	: 資本関係・人的関係・取引関係ともに該当すべき事項はございません。



## 4. 補足情報

## (1) 従業員数の状況

当第1四半期連結累計期間において、従業員数が前連結会計年度末179名から1名増加しております。

なお、従業員数は就業人員(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。)であり、臨時雇用者(パートタイム労働者及び派遣社員)は含んでおりません。

## (2) 生産、受注及び販売の状況

当社の事業特性上、生産、受注及び販売額について前年同期と比較した場合、増減額又は増減割合が著しく変動する可能性があります。これは、FPD関連製造設備は生産性向上のために大型化し1件当たりの投資額が巨額になってきていること及び検査関連装置に比べて単価が多額である露光装置の事業が拡大していること、並びに当社グループでは、顧客の個別注文に応じた受注生産販売を行っているため、顧客の都合によっては受注や納入の時期が変動し、業績に与える影響が大きくなる可能性があるためです。

当第1四半期連結累計期間において、FPD事業の生産、受注及び販売実績は、次のとおりです。

## ①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	前四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
FPD事業	394	2,558	549.3
合計	394	2,558	549.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注金額

当第1四半期連結累計期間の受注金額を地域別に示すと、次のとおりです。

地域	前四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
日本	106	187	76.0
中国	29	355	—
韓国	111	1,499	—
台湾	44	314	602.3
合計	292	2,356	706.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 中国及び韓国の受注金額の前年同四半期比は、1,000%以上のため記載しておりません。

## ③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりです。

地域	前四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
日本	370	575	55.1
中国	175	720	310.3
韓国	350	141	△59.5
台湾	133	67	△49.6
合計	1,030	1,505	46.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。